

# 学校通信

高田高校だより

SDGs GOAL 4 質の高い教育をみんなに

今月は、高田高校の学校生活や日々の取り組みの様子をお届けします

## 始業式・入学式

4月7日(月)に始業式が行われ、令和7年度の高田高校がスタートしました。

また、4月8日(火)には入学式が行われ、普通科115人、海洋システム科11人の計126人の新入生が高田高校に入学しました。式では新入生代表の村上響さん(高田第一中学校出身)が誓いの言葉を述べました。



高田高校は全校生徒340人で、本年度も勉強や部活動など様々な活動に取り組んでいきます。

## T×ACTION NEWS

### T×ACTION (タクシオン)とは…

総合的な探究の時間を中心とした生徒の活動の総称です。



### 3.11メモリアル行事

3月11日は東日本大震災発生の日。この日の出来事を忘れてはならないと、高田高校では毎年「3.11メモリアル行事」を開催しています。本年は本校卒業生で、大学で地域防災について研究している小野寺麻緒さんを講師にお招きして、被災当時の経験や防災をテーマにした高校での探究活動について語っていただきました。後半は、身近なことから始める防災として、生徒たちが「自分だけの防災リュック」を考えるワークショップに取り組み、いざという時への備えを意識することができました。



### SDGs講演会(1年生)

4月22日(火)、市企画政策課の職員を講師にお迎えして、1年生を対象とした「SDGs講演会」が開催されました。SDGsの歴史や概要、SDGs未来都市である陸前高田市が「ノーマライゼーションという言葉のいないまちづくり」を掲げて、「人」に焦点を当てた取り組みをしていることを学びました。



### たまねぎ畑除草作業(2年生)

2年1組・4組の生徒45人は、T×ACTIONで地域貢献活動に取り組みます。本年度最初の活動では、たまねぎ畑の除草作業を行いました。地域の農業生産物・特産物について知り、地域振興のあり方を探究することが目的です。当日はサンファーム小友さんのご協力をいただき、苗を傷つけないように配慮しながら作業する農家さんの大変さを実感することができました。

今後も、地域貢献活動として、ミニトマト栽培や高田松原再生活動、海岸清掃などを実施していく予定です。

高田高校の取り組みは公式noteをご覧ください。



問い合わせ先 県立高田高等学校 ☎0192(55)3153

# ゼロカーボンで もっといいまち 第3回



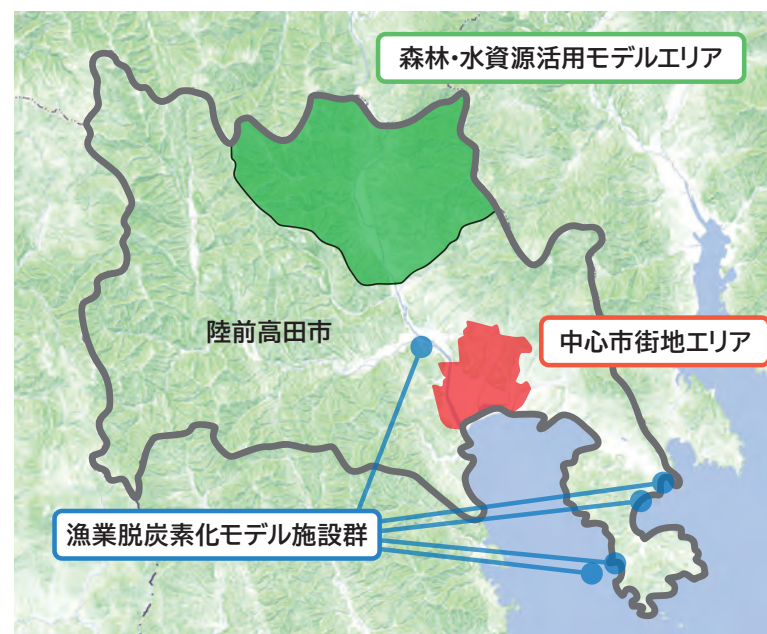
ゼロカーボン(脱炭素)とは：温室効果ガス、特に二酸化炭素(CO2)の排出を実質ゼロにすること

本市は、2050年カーボンニュートラルに向けて環境省が選定する脱炭素先行地域に選ばれました。本連載では、市が推進する脱炭素に向けた取り組みについて紹介していきます。

## 対象エリア

脱炭素先行地域では、脱炭素事業の推進により、地域課題の同時解決・農林水産業振興を目指します。そのために本市においては、次の3つのモデルエリアを設定しています。

- ①高田地区・今泉地区の復興土地地区画整理事業を含む区域(中心市街地エリア)
- ②横田町全域(森林・水資源活用モデルエリア)
- ③沿岸部に位置する漁業関連の施設群で、漁業の脱炭素化を推進する上でモデルとなる施設(漁業脱炭素化モデル施設群)



出典：国土地理院の地図をもとに作成

## 解決すべき地域課題

取り組みを通じて解決を目指す地域課題は次のとおりです。

### ①市街地における津波被災跡地の利活用

- ・被災跡地などに営農強化型太陽光発電設備を設置し、ポット式による果樹栽培などの振興を図ることで、耕作放棄地や営農不適地を有効活用し土地利活用を推進します。

### ②林業の担い手不足

- ・薪ボイラーなどの普及を通じて間伐材や林地残材など未利用の森林資源活用を推進し、小規模林家や兼業人材など多様な担い手の確保を図ります。

### ③磯焼けによる藻場の消失

- ・漁業関連施設への太陽光発電設備導入による電気料金削減などにより、藻場再生の財源を新たに確保します。

そのほか、企業と連携した森づくりや藻場再生による「海の森づくり」を進めるなど、ゼロカーボンに向け地域資源を活用した取り組みを進めていきます。

これらの取り組みについて、次号から詳しく紹介していきます。

本市が取り組む  
脱炭素先行地域計画について

計画名 脱炭素と資源循環で実現する農林水産業振興  
～復興の先の創造的産業振興モデル～

詳細は  
こちら



問い合わせ先 市役所脱炭素推進室脱炭素推進係(内線341)